

紫 筍

第 27 号



都立文京高等学校同窓会会誌

昭和59年12月1日刊

目次

お天気ママさんから
競馬ママさんへ……鈴木淑子……1～3

職員異動……末 正明……4

市三会……末 正明……4

井出益男先生を偲びて……4

都立高校の教育を思う……古瀬敦……5

祝 文化功労者……佐藤幹夫氏……6

踊りに乗るの記……横沢靖夫……7

鉄道研究会発足……梶沢勇人……8

バスケットOB会……9

祝 卒業三十周年記念……青木一郎……9

生物部・学生科学賞に輝く……11

文化祭・体育祭(写真)……13

進路(国公立・私大四年・短大)……15

(専門学校・就職)……16

同窓会賛助者……17

吹奏楽部発表会……18

会計(決算・予算)……19

都立文京高等学校同窓会会報
紫 笥 第27号 昭和59年12月1日刊

編集 秋山隆興・中村早苗・鳥谷部幸一
南雲恵子・三田雄仁・後藤祐子
柏原幸二・池田恭子・榎本哲也
土橋文江・西岡 弘

住所 豊島区西果鴨1-1-5 (〒170)
九九一〇一八二三一
印刷 シミズ印刷 〇八二二一六三五

直撃インタビュー

第9弾

お天気ママさんから
競馬ママさんへ

鈴木 淑子 さん



プロフィール
昭和32年2月26日生れ。文京高等学校を昭和50年に卒業。高校時代はテニス部に所属。その後、川村短期大学に進み、卒業後三菱重工業に入社、OLとなる。しかし、4年後の56年にTBS「タヤケロンちゃん」のアシスタント募集のオーディションで見事採用されこの世界に入る。27歳。

高校時代の思い出

Q 高校時代で、特に印象に残っていることは？
A もう今はいらつしやらない島村政栄先生とおつしやる英語の先生で、その先生との出会いが非常に大きいことでしたね。

Q どんな先生でいらつしやったんですか？
A とにかくすごいスパルタな先生で朝授業と言うのをやって、七時半から八時半まで一時間英語の勉強をさせられ、それが二年間続いたんですよ。だけどそのおかげで英語は好きになりましたね。

Q テニス部に入られていたそうですね？
A ええ、練習はとも厳しかったけど、私自身根性とかが好きで自分を苦境に置いて闘っちゃうってところがありましたネ。



OL時代からこの世界に入るまで

Q短大卒業後の進路は？

A私ヨットが好きで造船会社ならヨット部があると思って三菱重工にしたの。

Qそこでの生活はどうでした？

A秘書課にいて女性としてはたいへん責任の重い仕事をしていて充実したOL時代を過ごしていました。だけど四年間働いて見て、社

会生活というのもどういふものか分かったし、何か他にまだ出来ることがあるんじゃないかと思つたの。

Qそれで何かなさつたんですか。

Aええ、その年が丁度年女だったので、それをきっかけにTBS「夕やけロンちゃん」のオーディションに応募したんですよ。それで、その中で現役OLはただ一人だったので珍しがられて採用されたみたいネ。

天気予報でのドジ

Qこの世界に入って苦労したことや失敗したことなどありますか？

A一番困つた事は天気予報でドジをしたことですネ。あれは確か長崎の集中豪雨の時のことで、いつも通り放送していると突然技術の人が「まだ始つてないよ」って言ったの。だから又引つ込んじやつたのネ。でも時間も間違つてないしモニターにも映つてるしおかしいな、始まつてるんじゃないかと思つたの。そしたら又そのスタッフが「ゴメンやっぱり始まつた」って言つて、それで又慌てて画面にパツと戻つたの。それでその時は番組をなんとか終わらせただけど、実はそのスタッフ、他のチャンネルの番組を見ていたのよネ。それで少し沈んだ設定の天気予報だった

のに逆にコメディになつちやつたの。(笑)

Q競馬中継もなさつてるんですネ。

Aあれもすごい失敗の数々で、最初はハイセイコーの名前位しか知らなかつたのネ。だけどこの仕事の良い所は仕事を通じて全く知らなかつた事を勉強させられたりとか、とてもお会いできそうもない人とお会いできたりすることが非常な魅力なの。そういう意味で競馬との出会いも良かったと思つてるの。

Q競馬放送での失敗は？

A初めの頃は馬の名前を間違えたり結果発表の時、一着、二着を一位、二位と言つてしまつたり。馬の名前を覚えるのも大変だつたわ。

Q今、ご自分で競馬などなさるんですか。

Aやつてる/やつてる/毎週買つてる。〃五百円の女王」と言われてるの。

Q D.J.もなさつてるんですか。

Aええ私も皆と同じように高校時代からラジオをよく聞いてたのネ。それでラジオへのあこがれが強かつたの。そしてこの世界に入つてそれが実現できたわけ。

趣味について

Qプライベートな時間はどうしてるんですか。
Aそうですね、恋の方はシーズンオフですけ

ど、毎週土曜日に三菱重工のヨット部に
かせてもらってるんです。

Q ヨットの魅力って何ですか。

A うーん、やっぱり風を翼に海を翔ぶとい
うの感覚ネ。

Q すきになったきっかけは？

A 加山雄三ノ(笑)それもあるし、やっぱり海
がすごく好きだから。それで去年は江ノ島の
親善レースでは四位になったの。だけどそれ
で成し遂げた気がして今年はヨットに力を入
れてないわ。

これからの人生について

Q 結婚しても今の仕事を続けますか。

A そうネ、仕事があったら続けたいけど、し
がみついてまで残りたいとは思わないわネ。
Q ヨット部にて得たものは？

A 仲間ですネ。今でもその合宿所に行くとい
家のようであれしくなってしまうの。仕事で
嫌な事があっても全部解消できるしネ。色々
な不満を感じながらもOLを続けて行けたの
は、やはりヨット部の存在であり、仲間の存
在であったと思うわ。だからヨット部はOL
時代に見つけた私の宝物だと思ってます。

私は脱OLとしてこの仕事を始めたわけだ
からもう充分なの。色々な経験もできたし、

仕事がないならそれでもいいと思ってる。
Q そうしたら次の目標は何ですか。

A うーん結婚かな。女として生まれた以上は
是非結婚したいし、子供も産んでみたいし、
親や姉妹以外の人と暮らすことに興味がある
わけ。

今の自分の生活

Q 給料の使い道は？

A お給料は普通のOLよりもいいけど衣装代
などですいぶん使っちゃうから、

Q 女性がこの年齢まで仕事をするとしたこと
についてどう思いますか。

A 私はいいと思います。若い時にしか出来な
いことはどんどんやって行った方が良いと思
いますネ。女性も一人で生きていけるという
姿勢をもっていた方がいいと思う。

Q 今やりたい仕事はありますか。

A うんあるけどかなわなそうだから言わない
ことにしているの。だけどそれができたら他
の仕事は全部捨ててそれ一本でやって行きた
いと思っています。

アドバイス

Q では最後に、これから社会にでる私達への
アドバイスなどありましたらお聞かせ下さい。

A やっぱり色々なことにチャレンジして欲し
いですネ。それから社会に出て常識というの
がすごく大切だと思うの。良識の部分と友達
とぶざける部分を使い分けて欲しいし、例え
ばきちんとした場所では、きちんとした態度
や言葉遣いをとれる部分を絶対養って欲しい
と思うの。現代っ子だからしょうがないもん
っていうのは社会では通用しないし、非常に
醜いです。

(これからも益々のご発展をお祈り致します。
今日はどうもありがとうございました。)

職員異動

転任された先生

太田 泰弘	化学	22年在	都立両国高に
木村 治郎	地学	21年在	大島高教頭
松浦 桂子	英語	20年在	都立市ヶ谷商業高
野口 高明	保健	4年在	青梅東高
山田健之輔	事務長	4年在	城北高
吉田由利恵	司書	15年在	向丘高
石井順子	事務主事	6年在	都議会局に

着任された先生

須藤 章	化学	都立葛飾商業高校より
山崎 里佳	英語	文京盲学校より
清水 真	保健	新任 国士館大学卒
岡田 一美	事務長	都立大泉学園高校より
清水あい子	司書	赤羽商業高校より
山本 順子	事務主事	工芸高校より

十周年を迎えた市三会

代表世話人 末 正明

故渡辺実先生と13人の同窓有志を軸に、創立(昭和49年10月17日)した市三会も、去る10月17日の記念会で第12回目の例会を迎え、多くの会員が集い盛会でした。単に同じ文京に学んだ同窓有志の憩いの場として発足した市三会が、今日多くの恩師や同窓の方々のご支持を頂いて、発展し、ボランティア活動・恩師の叙勲祝い・送別会・追悼祭・文京高校PRの「文京だより」の側面援助など、母校と表裏一体の活動も続けてまいりました。丸10年の歳月を経て、会運営について会員各位が確認し合ったことは

- ① 互いが意図的にメリットを求め合わな
いこと。
 - ② 相互理解と心のつながりを大切にし合
うこと。
 - ③ サロンのな雰囲気を大切に、年齢差
や男女差の別なく、又職種などに束
縛されない、自由に語り合える場
を創り出すこと。
 - ④ 時代と共に若い会員を推薦し、参加し
て頂く。
- などの点です。様々な職業人の生の声を聞き、広い視野と互いの啓発を享受できる市三会は、金銭や時間を越えた共有財産です。



井出益男先生(国語、文京在職33年)

大正5年9月9日生

- 昭和13年 日大高等師範部国語漢文科卒
19年 日大法文学部文学科(国文)卒
13年 長野県北佐久郡春日小学校
14年 台東区台東郡馬蘭公学校
15年 台湾、台東尋常高等小学校
16年 東京市立日暮里尋常小学校
19年 川村学院中学校教諭
20年1月 東京都立文京高等学校
20年2月 召集
21年2月 召集解除(陸軍一等兵)



第2回現旧教職員の集いにて、お元気に話される井出先生(左側、57.3.6)

53年3月 都立文京高等学校退職
53年4月 日大付属藤沢高校・
都立八潮高校時間講師
58年7月 退職
59年8月15日 東京医大病院にて、
難病の為 御逝去
慎しんで御冥福をお祈りいたします。

「井出益男先生を偲びて」(仮題)追悼集
を有志で編集。千円一口から。賛同の方
は左記へお送り下さい。一周忌迄に送付。
〒152 目黒区八雲町5-11-23 坂本育雄

電話 七一八-四八〇六

都立高校の

教育を思う

校長 古瀬 敦

都立高校の教師を三十五年間勤めた。その間の都立高校の変転を思うとき、幾多の感慨なきを得ない。その中でも、特に強く感じていることを、二三書いてみたいと思う。

その一つは、戦後の高校教育、あるいは教育一般について、政治の介入がひどかったということである。根本である教育基本法だって、敗戦の結果生れた。私たちは、軍国主義教育から民主主義教育へ、百八十度の転換をさせられた。日本人が自分たちの手でかちとったものではなく、政治的に与えられ、強制されたようなものであるから、そもそもの最



初から政治の介入があつたといえる。

それからというものの、自民党や文部省対日教組だの、都道府県の教委対教組だの、杜共の対立だのと、いった政治的対立・抗争が、現場に大きな影響を与えてきた。教科書問題、勤務評定、その他最近の主任制に至るまで、現場の教育は一貫して政治の介入のため、動揺したり、対立が激化したり、混乱したりしてきた。特に都立高校の場合、高校紛争以後、ますますひどくなつてきたように思う。

しかし、一方では、日本の教育の優秀さは、米国を始め、外国から高い評価を与えられるものであつた。それは、政治の介入がひどいとはいへ、教育にとつて部分的にそうであつたのであり、本来の大事な機能は果されてきたからであらう。

そこで、私の考えでは、今後の都立高校の教育において政治の介入が今後も避けられない面はある。確かに教育は、国民的大問題であり、臨教審など政治的問題にされていて、そこから逃れることはできないと思う。しかし、私が必要であると強調したいことは、政治からの自己防衛ということである。教育が大昔からもつている本来の機能とか、教育としてあるべき政治からの自律性とかに注目してほしい。そして、都立高校の教育の質の向

上に努力してほしいと願つてやまない。

二番目にいいたいことは、都立高校が、学校群以前と以後で、様相を一変したように感じることである。昭和42年学校群制度が導入されてから、都立高校の教育の困難さが、見る見るましていったような気がしてならない。学校によつて程度の違いがあり、一概にいえないかもしれないが、私自身の感想は、今後とも変らないであらう。

それから、それ以上に問題なのは、昭和44年の高校紛争である。都立高校は、学校群制度により自ら低落の道を歩み始めたが、この高校紛争は、まさに決定的な低落であつた。当時の思い出はいろいろあり過ぎるし、身の痛い体験もあり過ぎるほどであるが、特に私にとつて意外だつたのは、教師を敵視してはばからない過激派生徒の出現、それら生徒の授業ボイコットによる集会、大衆団交、ハンスト、学校封鎖等の破壊的・暴力的行動、さらに意外だつたのは、それら生徒の言行を否認し、弁護するような教師が出てきたこと、マスコミの一部にもそういう風潮が見られたし、行政当局も沈静化を先に考えるためか妥協的な態度が見られたことであつた。

学校群と高校紛争は、都立高校の教育をた

いへん困難なものにした。この時代の教師は、
混迷・動揺・失望・苦悩・自信喪失を経験し
た人が多かったろうと思われる。

そして、現状もその影響が、まだ相当ある
のは、残念である。現在の都立高校は、この
紛争の結果生じた教育の困難さ——具体的に
いえば、学習指導・生活指導・進路指導等の
問題を十分に解決したとはいえない。

祝文化功労者

佐藤幹夫さん

(昭和二〇年卒二期D組)

昭和23年から33年の十年間、文京高校定時
制の数学の先生として、東大へ通っておられ
る時教鞭をとられました。昭和29年東大物理
学科卒。43年東大教授。44年朝日賞、45年京
大数理解析研究所教授。51年日本学士院賞。
超関係の概念を創始し、「代数解析学」の
新分野を生み、国際的にも高く評価される。

20年代母校で共に勤務した仲間

(後列左から)小島・福田・静谷(晴)

鳥海・佐藤・西岡

(57・5母校での会の各氏)



三番め、最後にいいたいことは、それでも
徐々に都立高校はよくなりつつある、立ち直
りつつあるということである。世の中の流れ
も高度成長から安定成長へ変ってきたという
こともあろう。不評判だった学校群制度も十
五年で終り、グループ選抜に変ったこともあ
らう。それ以上に大事なことは、教師たちの
努力である。全体的にいえば、政治の介入に

かき乱されたり、教育自身の困難さに苦しみ
ながらも、教師たちの努力によって、都立高
校は、昭和50年代に入ってから、回復の度合
を進めつつあると見る。その兆候は、最近春
の高校入試にも、少しずつ現われてきている。
新聞に長いこと書かれてきた「都立高校離れ」
から、「人気復活」などと書かれるようになった。

しかし、私の考えでは、まだまだである。
既に述べたように、紛争以後の後遺症は残っ
ているし、……容易でないと思う。私は、今
後の都立高校に期待したのであるが、教育
に対して教師が集団的に自信をもって当るよ
うになつてほしい。それには、教育に対する
考え方が、教師個々バラバラであるのではな
い。もっと正当な考え方が、多数の教
師の研修と話し合いなどを進めることによつ
て、中心的なものにならなければならぬ。
あの紛争のころ、常識とか良識とかが、ナン
センスとかいわれて、今から思うと、馬鹿げ
たことが堂々といわれたことを思い出す。常
識とか良識とかいわれるものだけが、正当な
考え方とは思われないが、多数の人が本心に合
意できるような考え方が、中心的にならない
と、学校教育は本物にならないように思うの
である。

(59年11月6日)

踊り子に乗るの記

二期C組横 澤 靖 夫

六月初旬の某日、七人の初老の男達が、東京駅から、特急踊り子号に乗って伊豆へ向った。みんな同じ年の同期の桜で、今は職業が医者、税理士、銀行員、会社員、オーナーとそれぞれ異なる分野で活躍しているが、三十年前は、同じ教室で、机を並べて、同じ先生に教わった仲間である。

或る時、一泊旅行をやろうと発案して、今回は五回目である。毎年やれば感慨が少いので、一年おきにやることにしている。丁度十年、お互いに変わらない心算でも、一様に変化した事は、眼鏡を掛けていない者まで全て掛けるようになった。即ち老眼である。

心を許しあつた仲間は、顔を見るだけで楽しく、誰からともなく話し、そして誰からもなく話題がれ、誰かが止切れなく話をしているうちに、列車は下田に着いてしまった。

下田東急ホテルに泊つた一行は、仲良く、散歩し、飲み、語り、一夜が明けた。

翌日は、下田から待つていた踊り子に乗り、



河津からこれ亦東海バス名物の踊り子バスに乗った。伊豆はみんな何度も来て特に珍らしいコースもなく、唯行つて帰るのではつまらないという幹事の発案で、天城の踊り子ラインをアンティークなボンネットバスに乗る事にした。このバスの事はみんな知っていたが女

車掌が踊り子の姿をしている事は、幹事以外には知らなかった。みんな車掌がその恰好をしている所へやって来ましたアンティークなボンネットバス、やはり乗っていました黄八丈の着物を着て丸まげ、足はきやはんにわらじばきというスタイルの女車掌が乗っていた。みんな大変な大喜び、満員で発車したバスの視線は全て踊り子車掌に注がれ、車窓の景色や説明を聞く者は少なかった。もっともバスのエンジン音の音がうるさく踊り子さんの説明があまりよく聞えなかったようだ。

昭和一ケタ男には、こういう出会いには、大変感泣し、浜田君などは、初めから踊り子さんの真後ろに陣取つてスタイルを眺めて眼を細めていた。みんな下手な芸者よりまじだという感慨であった。途中で七分の休憩があり、踊り子さんを囲んで撮影会となった。

夢の間の一時間は過ぎて終点の浄蓮の滝に着いてしまった。バスの通る沿道では、人々の驚がくの表情が一杯集中し、特に年輩の人々には、驚きから、乗っている人々へのせん望に変わって行く視線が感じられた。

幹事としては大成功で、みんな喜んで、恐らく、みんな下田に来た事は忘れても、踊り子バスに乗つた事は、何時までも覚えている

だろうと語り合った。

昼食の後、今後は普通のワンマンバスで、修善寺から三島經由新幹線で東京へと思つたら、修善寺に着いた途端、六分待ちで、特急踊り子号東京行が出るという事で、取敢えず乗つたら、丁度全員座われたので、新幹線に乗らず、文字通り、ゆきから帰りまで、全て踊り子に乗った旅であった。 おわり

文京鉄研OB会「鉄研会」

です

どうぞよろしく

48年3月卒 梶 澤 勇 人

鉄研（鉄道研究部）が文京に生まれたのは昭和46年5月でした。まず同好会として英語の高橋先生、生物の熊谷先生の御尽力により正式に発足しました。

当初は会員間の意見の対立など、危機的狀況になりましたが、翌年第3期生（昭和47年4月入学）を迎え、同好会として確固とした組織活動が出来るようになりました。第3期生諸君を中心にした活動は大いに盛り上がり、ほどなく悲願であったクラブに昇格しました。第3期の諸君の存在は、文京鉄研を語る時、

特記すべきことと思います。

文京鉄研は発足当初から、鉄研会という別称があり、卒業生が増加するに伴い、鉄研OB会「鉄研会」という名称が定着しました。

私たち鉄研OB会は、毎年春と秋の2回正式会合を開いています。春の会合は3年生の卒業を祝い、鉄研OB会への入会を歓迎するOB会最大のイベントで、多くのOB諸君が楽しみにしているものです。当日は文京の教室に現役生、OB有志が集まり、卒業を祝うと共に、鉄道に関する話題で午後のひとときを過ごします。さらに夕方からは寿司屋などに席を移し卒業生を招待してOB会の入会を歓迎するコンパを行います。この形式は鉄研発足当時から今日まで引き継がれています。

現在、鉄研OB会は70余名となり組織が大きくなりましたので、昨年、有志が事務局を組織し、OB会の強化、現役諸君の活動援助などにきめ細く活動しています。

今や文京鉄研が文京高校の歴史の何行かに値するものとなったことを、鉄研誕生に関係した一人として心から、うれしく思います。

文京鉄研に栄光あれ!!

（59年から同窓会の下部組織となる）



文化祭（現役）





バスケットボール

第十五回OB会開催

同窓生のみなさんお元気ですか。OBの皆さんには益々ご健勝の事と存じます。

さて、去る昭和59年7月29日(日)に第十五回目のOB・OG会が、文京高校体育館に於て、渋谷先生夫妻、その他総勢七十余名の参加にて開催されました。

午前は我、バスケット部OBの石黒先生率いる都立広尾高校との現役定期戦をはじめ、OB・OG戦、フリースロー大会。

夕方からは神戸屋別館にて懇親会が行われました。久しぶりに顔を会わせ、みんな和気藹々のうちに進行され、又来年の7月の最終日曜日に会おうと再会を期して終わりました。

最近の戦績を紹介しますと、56年の関東大会出場、58年の二度目の出場と毎年安定した実績を残しています。過去6年間をみても、連続出場校が2校、さらに都立高の中では2回出場という例のない戦績で、ベスト8を獲得しました。これも一重に現役の努力と、広

祝 卒業三十周年記念

昭和二十九年三月卒六期生

代表世話人 青木一郎

教室をバックに、思いを胸に

去る十月十四日、川井・石上・築山・玉城各先生をお迎えし、30年記念の同期会を大塚ホワイトチャペル(田角万)で持ちました。その後、母校へと足を運び、かつての教室で郷愁のひとときを過ごし、二次会へと散会。

元町小学校、向原の大塚台小学校の仮住いから、現在の北側の校舎が建った時に移り、青春の感慨を秘めて巣立ちました。



見、渡辺両先生の毎日のご指導と熱意の結晶だと思えます。これからも、さらに精進していただき頑張ってください。

渡辺先生がこれからの新チームについて記述された抱負を出してみると、「男子は久しぶりに長身者が入り、立体的なバスケットができそう。全くの未知数であるが、良い素質を持った者が多く、努力しだいでは三度目の関東大会出場も夢ではないのだが、やはり高校生として徹底的にバスケットボールに打ちこむ姿勢をとることができなかろう。」今年度もなんとかやってみようという感じがします。現役諸君ガンバッテ下さい。

最後になりましたがOB会名簿が未だ不完全です。この「紫旬」を讀まれて変更等がありましたら是非OB会の幹事まで連絡、ご一報を下さい。

昭和59年11月 記

OB会幹事 連絡先

若尾迪治 (33年卒)

(自) (882) 0703

(会) (822) 1421

片山一郎 (46年卒)

(自) (824) 5681

(会) (364) 5151

加藤俊男 (47年卒)

(自) (377) 1853

(会) (955) 8404

吉田晴夫 (55年卒)

(自) (913) 2024

高橋邦芳 (55年卒)

(自) (915) 1447



クラス対抗 (現役)



富士山の精進口登山道近傍における植物の
垂直分布及び人為的影響(富士スバルライン)

岡田康男ほか 二十二二人

優秀賞

富士山は、古来日本人の心に根ざして来た美しい山です。しかし、その端整さは姿だけではありません。そこに生きる生物たち、特に植物の生活の場についても、美しい程整った規則性があると言われています。

私達は、夏の富士山の山道を歩きながら、わりと大掛かりな植生調査を実施しました。そして、この植物達の生活の場のしくみ、植物の社会の規則性というものを、自らの手で



見いだそうと試みました。

あまり標高が高くなると、寒さで樹木は生活できません。調査の結果、その限界線が標高二二〇メートルから二三五〇メートルの間で、そこから下は順にシラビソ、ダケカンバ、コマツガ、ヒノキが主力を占めていることがわかりました。

また、それと併せて、スバルラインを歩きながら、道沿いの植生を観察し、人手が加わると自然はどのように変わってゆかかという事を考え、人間と自然とのかわり合いという事も考えてみました。

学生科学賞に輝く生物部

「富士山の土壌動物」

大久保秀之(1F)

優秀賞

富士山は日本人の心の故郷などといわれておりますが、生物学的に見ると、亜高山帯から落葉広葉樹林帯までが見られる垂直分布の興味深い山です。この山で、当生物部のお家芸ともいえる土壌動物の研究法を使い、あまりよく調べられていない、高山の



土壌動物の調査を行いました。その結果、非常に興味ぶかいデータを得ることができました。土壌動物を地表から5cmまでの層と、10〜15cmまでの層で比較しました。浅い層では、高度が上がるにつれて土壌動物は少なくなつてゆきましたが、深い層では土壌動物の数は、ほとんど違いがありませんでした。

これは二千米をこす高度でも土壌が10cmあれば、環境の影響をうけにくいということで、土のもつ不思議な作用を土壌動物を調べることとでみつけることができました。

来年度の合宿地は未定ですが、この浅い層と深い層の比較を中心にやろうと計画しております。

文京高校における土壌動物の研究(II)

奨励賞

磯田 有成(2H)
高田 勉(2F)

私たちの文京高校は、近年の都市化により



自然が失われてゆく中で、貴重な緑を保持しています。この残された緑地の内で生物はいかなる営みをしているのでしょうか。私たち二人は、足もとの自然―土壌動物の世界―を調べてみることにしました。

このテーマは、先輩から受け継いだものですが、今年、月別の変化を追求しました。

その結果、1ℓの土の中には、四千匹以上の土壌動物たちが生存し、しかも、落葉の量や、日照条件、水分量等で、その動物種の構成や数に著しい違いを見出すことができました。

一般に落葉の量が多く、日かげで、水分が3〜4割程度の条件のところ、豊かな土壌動物の世界が見られました。

来年は、この研究結果をふまえて近年話題の殺虫剤、除草剤等の環境への影響を調べてみようかと、夢をふくらませています。



努力賞

シヨウジョウバエの群生化のメカニズム
阿久津哲也(2D)



努力賞

モツゴの連続採集法

福島勝幸(2H)、川辺一郎(2H)
平野敦司(2F)、後藤明久(1G)
遠藤光人(1G)、阿部公平(1A)
生物部顧問教諭 熊谷重明、大橋洋一

※学年・クラスは58年度です。

文化祭

59
・
9
・
29



元氣一杯

舞踊部



音楽部合唱 魅了する歌と指揮

スポーツ大会

59
・
2
・
1



一寸、ストップよ

体
育
祭

59
・
9
・
26



踊るパン



あと一息



日頃の馬力で

卒業生進路状況 — 2 —

(4) 各種・専修学校 (59年4月調)

学 校 名	現役	浪人	学 校 名	現役	浪人
竹早教員養成所	6		香川栄養専門学校	3	
東京教育専門学校	1		文美化服装専門学校	1	
神田外語学校	4		武蔵野榮養専門学校	1	1
通訳ガイド養成所	2(1)		青山コーディングスクール	2	
大原簿記学校	1		武蔵野調理専門学校	2	
津田スクール・オブ・ビジネス	1		東洋美術学校	2	
東京会計専門学校		1	東京衛生学園専門学校	1	
東京スクール・オブ・ビジネス	5		東京工科大学	3(2)	
中野スクール・オブ・ビジネス	1		横浜高等教員専門学校	1	
一ツ橋スクール・オブ・ビジネス	8(2)		東京歯科衛生専門学校	2(1)	
村田簿記	1		日本テレタイプレックス	1	
早稲田速記学校	3(2)		東京商科学院専門学校	1	
国立病院医療センター附属看護学校	1		道灌山学園保育専門学校	1	
東京観光専門学校	4		バンパシフィックインス	3(1)	
日本ビジネス専門学校	4(2)		荏原看護専門学校	1	
東京一ツ橋外語学院	1		日本工学院専門学校	2	
都立板橋高等看護	1(1)		日本デザイン専門学校	1	
東京外語専門	1		日本動物植物専門	2(1)	
インタリアセンタースクール	1		日商簿記専門	1	
東京コンピュータ学院	1		東京工学院情報専門	3	
関東工業専門	1(1)		国際観光専門	2(1)	
朝日コンピュータスクール	1		帝京看護専門	1	
千代田工科芸術専門学校	1(1)		日米会話学	2	
東京写真専門学校	1		東京田中千代服飾専門	1	
東京デザインナール	1		東京工学院芸術専門	1	
都立新宿看護専門	1		東京医科大歯学部附属歯科衛生師学校	1	
辻調理師専門	4		聖徳短大教員保育養成所	1(1)	
国立西埼玉病院看護専門	1		都立練馬保育学院	1	
東京厚生年看護専門	1		国際航空専門		1
都立豊島看護専門	1		東京体育専門		1
駿台電算専門学校	1				
東京電子専門学校	1	1			
日本電子専門学校	4(2)		合 計	114(19)	5

(5) 就職状況 (59. 11. 2現在)

氏 名	企 業 名	氏 名	企 業 名
H 内山 誠	電 々 公 社	F 加藤 良子	日 本 債 券 銀 行
I 沢藤 弘道	神 三 外 苑	F 加藤 千賀子	日 三 井 々 銀 行
A 進藤 優香	電 菱 ア ル	G 寺内 亜紀子	電 三 公 社
B 有田 容子	日 本 新 製 鋼	G 三村 恭代子	電 三 井 銀 行
B 馬場 まゆみ	日 本 信 販	G 中島 裕子	昭 和 電 工
C 関 亜由美	ホ テ ル エ ド モ ン ド	H 平山 美和子	太 日 陽 生 命 保 險
C 関 弥栄子	住 友 銀 行	H 三浦 美江子	大 本 信 託 油 油
D 金沢 京子	大 友 和 証 券	H 羽山 郁代子	日 丸 善 石
E 小野 純子	日 本 精 工	I 小串 由美子	埼 玉 銀 行
E 早坂 知子	勤 業 角 丸 証 券	I 小 智 恵子	ト ヨ タ 自 動 車 裁
E 尾形 智子	松 伊 勢	I 関 根 貴子	森 岡 和
F 井口 久子			(以上 23名)

池谷製作所

(メガネ・レンズ製作)

一D 池谷利一

〒160 新宿区大久保2-13-16
Tel(会)209-8631 (自)209-8118

高松診療所

一B 野久保泰徳

〒190 立川市高松町2-2-14
Tel 0425-27-3541

勝山歯科医院

一A 勝山和夫

墨田区太平3-14-5
Tel(医院)623-6592(自)671-8100

銀座菊地病院・救急病院

(内科・外科・整形外科)
(皮膚科・婦人科・眼科)

院長・二A 湖山 聖道

〒104 中央区銀座7-13-15
Tel(病院)541-1151
(自宅)465-6113

小林学習塾塾長

(小・中・高マンツーマン指導)

一B 小林(石垣)一夫

〒174 板橋区東山町5-13
Tel 972-1227

ヨシヒデ金属KK代表取締役

(非鉄金属材料の販売)
(金属材料コンサルタント)

一A 郡司良典

〒180-03東久留米市小山1-17-3
Tel 0424-71-4415

医療法人 池袋大久保病院

(内科・胃腸科)

院長

二B 大久保 宏

〒171 豊島区西池袋1-43-5
Tel(医院)987-3785-7
(自)981-1623

(株)栗原製作所

(各種ディスプレイ企画製造)

一B 栗原正昭

〒111 台東区元浅草4-5-5
Tel 841-2515(代)

婦人科渡辺クリニック

一A 渡辺邦緒

〒107 港区北青山3-5-22
青山通り富士銀行ソバ
Tel(医院)403-3777(自)719-1778

弁護士

二D 原田 策司

〒104 中央区銀座7-5-4 毛利ビル4階
Tel 571-1780(代)
自宅 大田区上池台3-30-1

同窓有志の集い

市三会

世話人 一B 末 正明
一B 栗原正昭
4E 榎本幸三

弁護士

一A 渡辺 剛彰

〒113 文京区西片2-12-23
Tel(事)814-1984 (自)811-7704

山根楽器KK

(レコード・ミュージックテープ他)

二D 山根 慶一

〒114 北区王子1-10-16
Tel(会社)912-7301
(自宅)906-5686

出光ガソリンスタンド 自動車販売整備

飯田橋・神保町

一B 末 正明

〒112 文京区後楽2-6-1
Tel(会)261-5111(自)811-0755

渡辺歯科医院

一A 渡辺 敏雄

〒160 新宿区新宿7-2-4
Tel(医院)203-3952
(自)351-7976

産婦人科

三E 小室 陽一

〒114 北区岸町1-12-22
Tel(医院)907-0303(自)907-0280

虎の門日比谷クリニック

(皮膚科、泌尿器科、形成外科)
健保扱い

一C 山中 秀男

(自)〒152 目黒区目黒本町4-8-20
〒105 港区虎ノ門1-1-20
虎ノ門実業会館5階
Tel(医院)508-2508 (自)714-9518

三崎町医院

成人病相談

一B 福山 正臣

〒101 千代田区三崎町2-21-1
TEL(医院)261-7446
(自)904-4844
社会福祉法人 全国ペーチェット協会

静谷クリニック

(内科)

四B 静谷 晴夫

〒170 豊島区西巢鴨4-6-2
Tel(医院)910-1136(自)910-1219

中村耳鼻咽喉科医院

一B 中村 信成

〒281 千葉市幕張町6-288-3
Tel(医院)0472-73-7026
(自宅)0472-72-6625

八洲印刷K.K.

一B 川上 光男

〒114 北区王子本町2-11-6
Tel(会)909-3211 (自)815-2839

弁 護 士

18期I 宮 本 智
 〒100 千代田区有楽町1-6-8
 松井ビル6階
 旬報法律事務所
 TEL(事務所)580-5311
 (自宅)0423-44-2915

弁 護 士

14期C 三 角 信 行
 〒103 中央区日本橋1-2-10
 東洋ビル9階
 東京綜合法律事務所
 (事務所) TEL 272-3761
 (自 宅) TEL 964-8983

東京都北区議会議員
 医療法人赤羽病院常務理事
 王子税理士会顧問
税理士

4E はいばら 富士雄
 〒115 北区志茂1-17-13
 TEL 901-8554

南浦和・セキハタ歯科医院

21期I 関 端 徹

〒336 浦和市南浦和2-7-17
 Tel(医院) 0488-86-1818
 (自) 0482-68-9176

飯田橋初谷歯科医院

15期B 初 谷 宏一

〒102 千代田区飯田橋3-5-10
 イワタビル4階
 Tel(医院) 262-8206
 (自宅) 400-9007

サトウケミカル(入浴剤製造)

4期C 佐藤 佳男

〒352 新座市東3-8-14
 Tel(会社) 0484-81-2323
 (自宅) 0484-74-8456

斉藤商店(精肉・食品卸)

29期 斉 藤 智 夫

〒112 文京区白山5-1-15
 (会社) TEL 815-5771
 (自宅) TEL 815-0029

下田特許事務所

17期E 大橋 邦彦

〒171 豊島区长崎2-29-17
 Tel(自宅) 957-1533
 (会社) 586-6821

静谷歯科医院 (歯科一般)

4期D 静 谷 栄 夫

(午前) 〒170 豊島区駒込3-11-3
 Tel 915-1108
 (午後) 〒170 豊島区巢鴨3-8-15
 Tel 915-0072

賛助金は
 一口1万円です。
 同窓会まで
 お申込み下さい。

松栄(靴下・婦人下着小売)

18期G 松 井 好 彦

〒111 台東区浅草橋1-21-1・松栄
 Tel(会社) 866-9711
 (自宅) 0473-36-2395

御徒町食堂

5期F 右高 研至

〒114 北区豊島1-37-10
 Tel(自宅) 919-1559
 (会社) 832-0451



第22回定期演奏会 : 東京都高等学校吹奏楽連盟

於 : 日比谷野外音楽堂
 昭和59年6月24日

第二回 都立文京高校 吹奏楽部発表会

吹奏楽部発表会

日時 昭和60年3月31日(日)午後一時三十分
 場所 サンパール荒川(都電荒川区役所前下車五分)
 曲目 一部、クラシック(なき女王のためのパヴァーヌ
 パシフィックセレブレーション他)
 二部、ルロイ・アンダーソン特集
 三部、ニューサウンズIN文京

二部、ルロイ・アンダーソン特集
 三部、ニューサウンズIN文京

昭和58年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和58.5.21～59.5.26の間の会計は次の通りになります。

昭和59年5月26日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上正確であることを認証します。
昭和59年6月1日 会計監査 横沢 靖夫
鎌田 次彦

1. 財産目録 (59. 5. 26)	
イ. 貸付信託 (基本財産)	13,610,000円
ロ. 現金 (含郵便口座)	2,421,728円
ハ. 物 品	
①両開き書庫 4	②書類入れ 1
③金庫 1	④手提金庫 1
⑤机 2	⑥いす 1
⑦ファイル 1	⑧ストー
⑨カメラ 2	⑩三脚 1
ニ. 郵便口座	40,000円
ホ. 奨学基金 (金銭信託)	1,373,095円
ヘ. 会館建設基金 (#)	1,394,165円
ト. 50周年基金 (貸付信託)	600,000円
2. 現 金	
イ. 収 入	7,150,998円
繰 込 し	1,805,358円
会費 (58年度卒, 8000×455)	3,640,000円
賛 助 金	120,000円
名簿・記念誌	28,000円
郵便振替	572,500円
利 息	821,851円
寄 付	163,289円
ロ. 支 出	4,769,270円
経 常 費	3,369,270円
各部・事務手当	40,000円
名簿 (810冊・バラ291組)	1,265,000円
会報 (11,500部)	345,000円
# 送料 (70×10,014)	700,980円
# 発送費	100,000円
文京だより (4,000部)	140,000円
後援費	60,000円
人件費	20,000円
通信交通費	166,970円
運営費	171,540円
慶弔費 (森田先生)	10,000円
カメラ	199,780円
その他	150,000円
貸付信託	1,000,000円
奨学基金	100,000円
会館基金	100,000円
50周年基金	200,000円
ハ. 繰 越 金	2,381,728円

昭和59年度
予 算

[収 入]	6,869,228円
繰 越 金	2,381,728円
利子 配当	850,000円
59年度会費 (8,500×395)	3,357,500円
その他 賛助金	240,000円
名 簿	40,000円

[支 出]	4,584,000円
経 常 費	3,184,000円
各 部 (名簿・会報・広報各5,000	
事務手当30,000円)	45,000円
名 簿 (550部+バラ50冊分)	1,000,000円
会 報 (11,800部)	350,000円
# 送料 (10,200部×70)	714,000円
# 発送費	100,000円
文京だより	150,000円
後援費 (母校・卒業生)	150,000円
名簿アンケート	200,000円
通信・交通費	80,000円
運 営 費	250,000円
慶 弔 費	50,000円
写真機 (全自動35ミリ)	45,000円
予 備 費	50,000円
貸付信託	1,000,000円
奨学基金	100,000円
会館基金	100,000円
50周年基金	200,000円

[繰 越 金] 2,285,228円